

折に触れ 四字熟語

NO. 11 『昏定晨省』 こんてい しんせい

< 意味 > 親に孝行すること。

< 出典 > 「礼記」<曲礼上第一>

『凡為人子之礼、冬温而夏清、昏定而晨省。在醜夷不爭。』

読み下し： 凡そ人の子たるの礼、冬は温かにして夏は清しくし、昏に定めて晨に省みる。醜夷に在りて争はず。

通 釈： およそ人の子たる者の礼として、父母に対し、冬は温かに、夏は涼しく過ごせるように配慮し、また毎晩寝具の世話をし、毎朝機嫌を伺う。そして兄弟・朋友と争って父母に心配をかけるようなことをしない。

一 言： 親孝行シリーズその1

中国は儒教の国ですから孝行とか恩を説いた、父母に関わる四字熟語が沢山あります。出典の中からは、もう一つ「冬温夏清」という同じ意味の四字熟語もつくられています。

もうすぐ8月も10日を過ぎると、新幹線、高速道路と帰省ラッシュが生じることでしょう。その帰省の「省」の漢字をひもといてみると、(父母の) ごきげんを伺う。(故郷に帰り父母を) 見舞う[三省堂・全訳漢辞海]となっています。

故郷へ帰って、友達と会ったり、テレビでオリンピックを観戦するのもいいでしょうが、父母への見舞い・気遣いもお忘れなきよう。

参照文献： 新釈漢文大系「礼記」 三省堂「四字熟語辞典」